

町報

1996
3月

No.300

こうふ

江尾駅構内に
チロル風の多目的施設、完成
愛称は
“ちろりんハウス”に決定



完成したちろりんハウスの前で通園中の子供の国保育園児たち

内 容

さらに親しまれる町報づくりを… P 2
 約束を守って、きちんと出そう不燃物… P 6
 森林交付税の創設を…………… P 9
 町のわだい…………… P 10
 教育コーナー…………… P 12
 お知らせ…………… P 18
 人の動き・元気ですヤング…………… P 21

町民の いこいの場に

江尾駅構内に建設が進められていた奥大山チロルの里多目的施設がこのたび完成しました。

江府町の玄関となるこの施設は、チロル風の建物で、正面には、大きな時計（大きさと「五」を添え付け、どこからでも時刻がよく分かるようになっています）。

館内には、学習室や会議室もあり、町民皆さんの憩いの場となります。

また、ひとつ新しい町の名所ができました。（なお、会議室などの本格的な利用は、四月からの予定です）

る町報づくりに

町報は 町を代表する顔

町報一号の発刊以来、二十五年の歳月を経て三〇〇号を迎えられたことに對し、深く敬意と感謝を申し上げます。

いうまでもなく、町報は町を代表する顔であり、地域の情報発信基地でもあります。

現代は、情報化時代といわれていますが、身近なところでは県はもちろん、町においても



昭和三十八年四月に町制十周年を契機に、町行政を知っていたためにスタートした町報は、今月で、発行以来三〇〇号を迎えることになりました。

これもひとえに、町民の皆様をはじめ多くの読者に支えられてきた賜だと心から感謝申し上げます。

最初は、二ページのもので、公民館報と隔月ごとに発行していた町報が、今では平均十六ページで毎月発行し、サイ

でも行政関係広報誌をはじめ、各種団体発行の広報誌は氾濫時代とも言えます。

しかしながら、それぞれに知恵をしぼり、いかに創意工夫した立派な広報誌でも、要

は読んで見てもらわなければ、意味のない一片の紙切れに終わってしまいます。

広報の使命は、広く正確に迅速が基本です。これを機に

表紙のみならず、要所をカラーにするなど、江府町ならではの割付で顔作りをし、町民

が早く読みたい、見たいと願望する町報へ更なる発展を切に期待いたします。

(武庫 宇田川 潔 団体役員)

町報は私の

元気のもと



町報こうふの三〇〇号発刊

おめでとうございます。毎回町内の出来事をとてわかりやすく紹介してありますので、居ながらにして町のことかと

でもよく分かります。

毎回楽しみに読んでいます

が、なかでも最後のページの

「元気です・ヤング」は特に楽しみにしています。

町内の若者のハツラツとした姿が紹介されて、読んでい

るだけで元気が出てきます。

これからも、元気の出る楽しい話題を載せてほしいと思います。

(江尾郵便局 砂口芳弘)

町報でみつけた

両親の結婚



私が小学生の時、図工室に

すごい前からの町報のたばがあったことを思い出します。

掃除の時にそれを見つけ、パラパラめくって見ていたら、

「結婚」の欄に私の父と母の名前があったのです。

そして、またパラパラめく

っていくと今度は「お誕生おめでとう」か何かの欄になんと私の名前があったのです。

HISTORY KOFU PUBLIC RELATIONS 町報こうふの歴史

昭和38年4月創刊

町行政の

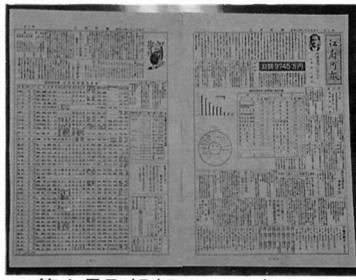
理解を深めるため

町報発行

S 38・4・20(編集・総務課)

町報十周年を機に町行政の更なる周知徹底を図るため町報を発行。二ページで発行。

公民館報と隔月で発行開始。(この年の一般会計予算九七四五万円)



▲第1号町報(S 38.4.20)

S 46・5・1(編集・総務課) 町報50号。主な内容として、久連橋完成。町内の交通事故激増。(この年の一般会計予算は三億二七〇〇万円)

さらに親しまれ

ズもA4版となり、町内外の幅広い情報を提供しています。三〇〇号を記念して(一月

号のお知らせで町報に対する記事を募集)、町報の思い出、町報にひとことなどの声を多くの読者の方からいただきましたので、ここで紹介し、今後の町報づくりの糧にいたしたいと思えます。

今後とも、町報に対して叱咤激励をよろしくお願いします。(読者の名前は敬称を略しています)



とても、驚いたのと同時になんだかうれしくなりました。

その日、家に帰ってこのことを母に話すと「そげかあー」と、とてもうれしそうでした。

私も何年後かに結婚して子供ができた時、こんどは、私の子供が私に「お母さんの名前があつたよ」と話してくれるような、そんな時がくればいいなと思います。

これからも、ずっと町報続けてください。応援しています。

(匿名)

町民を主役に

してくれる町報

結構、広い江府町。カメラ片手に、東へ西へ。まめに、いろいろな記事を集めて私に情報を提供してくださる町報。いつも、感謝しています。

このたび、三〇〇号発行にあたりお礼を申し上げるチャンスを得ました。「町民一人ひとりを主役にしてくれる町報」わき役の編集の方々のご苦勞に頭が下がります。ありがとうございます。子供の入学写真や年間行事などが家の歩みとして、大切に保存させていただきます。

(江尾 川端一美 会社員)

印象に残ったところ

ファイルしてま



町内の事業所に勤務(単身赴任)することになった平成

五年七月以来、町報は毎月かかさずに熟読させていただきました。特に、巻頭記事は作者の熱意がひしひしと伝わる内容で敬服するばかりです。今年六月末で他所に転勤することになると思いますが、この三年間の町報のなかで印象に残った個所はコピー、ファイルして、折にふれては読み返し、いつまでも江府町の思い出としたいと考えています。

(広島市 倉本峰男 会社員)

ヤング特集は

グループにしては



町報を毎月拝見しています。が、町民の要求する情報がほぼ網羅しているように思います。日ごろ気付かない町の動きを知ることができるのもよいところだと思えます。

個人的な意見としては、裏表紙の若い人の特集を個人ではなく数人のグループでやってみるのもおもしろいのではないのでしょうか。

(佐川 清水 崇 学生)

HISTORY KOFU PUBLIC RELATIONS

町報こうふの歴史

〃二〇〇号記念して各団体代表の座談会を開催〃

S 52・1・15(編集・企画室)町報一〇〇号。一〇〇号を記念して各団体代表による座談会を行う。「責任ある町報として自由な町民の意見発表の場に」などの意見がでた。

この号の主な内容は、苦澁第二トンネルが貫通。

この年に、江府町報表紙写真「カメ虫防除」県広報コンクールで佳作入選する。



▲「カメ虫防除」の表紙広報

S 55・江府町報・県広報コンクールで佳作入選する。(3)

の「煩わせない」は「煩わさない」が表現として適切だと思います。二段四行の「様は、「よう」、また三段十六行の「その時」は抽象的表現なので、「そのとき」がよいと思います。最後に、人口と世帯数の表示は、表紙の最下部に別枠を設けての表示が適当と思います。

(米子市 南波熊夫)

この町に生まれて

よかったです

町報を見てると、小さな町に生まれて良かったなと、よく思います。

江府町外の学校に通うようになり、中学校の同級生や小学校のころお世話になった先輩のこととか、全然わからなくなっても、小さい町ならで、町報に時々載ってるんです。町報の一番最後にある若い人を一人ずつ取り上げるところも好きです。よく知ってる人だったり、知らなくとも、どこかで見かけたことあるなあと思えるんです。何だか、温かくて、とても

好きです。町の政治のことはもちろんだと思っけど、町に住む人たちのことをこれからも、どんどん書いていってほしいと思います。

(江尾 上原香奈子 学生)

町報は職場・



家庭の話題のもと

町報三〇〇号発行おめでとうございます。数々のご苦労があったと思います。町報は毎号楽しく読ませていただいています。知人や家族の写真でも載つていようものなら職場や家庭で話の中心となります。

実は、私も三年前の一月号に顔写真とインタビューが載せられた時には、職場でも家庭でも話題となり、少し照れたのも思い出します。二十代のころは、結婚のコーナーを必ず見て、同級生の名前がなにかあった時には、相手の人がどこの人なのか興味深くみていました。これからも、未

長く町報が発行されることを願います。

(袋原 新見道弘 江尾郵便局)

多角的な編集を

編集委員会の設置



定期発行が約束されている町報の担当者のご苦労は大変だと思います。頑張ってください。阪神大震災の記事は新聞やテレビにないよいニュースでした。

広報とは、見たい(期待)、読みたい(知りたい)という二ユース性があることが重要です。画一的な編集でなく、編集委員会などによって多角的な検討が必要だと思います。

役場の各課別の記事など二ユース性をもっと知らせていただきたい。

(美用 川上卓雄 農業)



各部落の

紹介を望む



いつも楽しく拝見しています。町外勤務のため、町内の動向がどうしてもわかりにくくなっていますので、その意味においても、今後も続けていただきたいと思います。

今後の要望として、各部落の紹介を月々のせていただければ幸いです。

(佐川 清水 温 会社員)

庶民の味する

町報グーです



いつも、楽しみに読ませてもらっております。

嫁に来て、今までに読んだお役所的な内容とは違い、庶民的なあなたかみのある町報だなあと思いました。

これからも、変らず頑張ってください。

(ペンネーム ヤス)

約束を守って

きちんと出そう不燃物

可燃物の回収焼却については、二月号で詳細に紹介しました。

このたびは、不燃物について回収から処理されるまでを追って取材しました。取材日は二月二十二日、このたびの回収地域は江尾（二部地域）・久連・小江尾・佐川でした。

露天の不燃物には こんなことがある

不燃物の回収車は、最初に久連集落から作業を始めました。青空がひろがる好天となったこの日は、朝方かなり冷え込んだ模様で路面は凍結していました。露天に出ている

不燃物には昨夜からの雪が降り積りガチガチに凍っていました。

「天気がよくなり、気温が上がると雪がとけ不燃物を入れるとあるダンボールがぬれ、積込む時にばらけてしまい、なかの不燃物が出て、大変危険です」と慎重に作業をしながら語る作業員の空場俊介さん。露天に出してある不燃物の場合はこのようなことも起こ

ります。今後、対策を考える必要があるようです。

順調に作業が進むなかで、時折使い古したストーブがありました。

ストーブには

まだ残っている

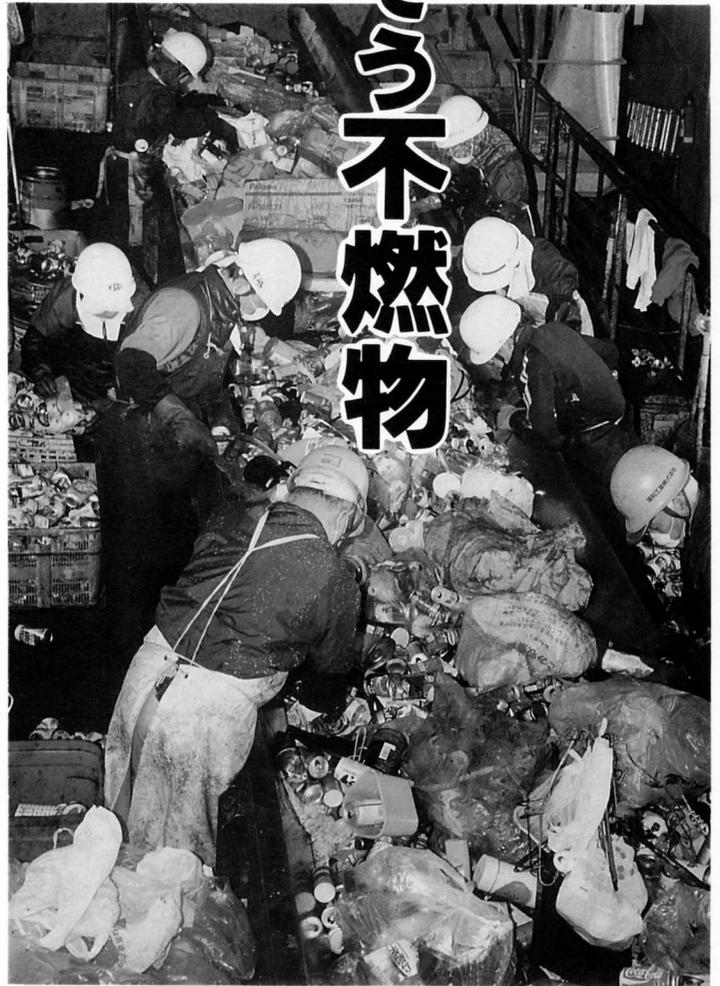
灯油がある

ストーブのなかにある灯油

タンクの油は確かにぬき取ってありますが、ストーブ本体に残っているものがあります。

「ストーブを出す時は、ストーブのなかに油が残っている場合がありますので、一度空炊きをして、それから、不燃物として出してください」と随行した環境整備課の職員は話していました。

ストーブを回収車に積み込



▲不燃物を分別する作業員の皆さん（岸本中間処理場）



▲次々と不燃物を積み込む作業員の皆さん(久連)

んでから、「今は、ストーブも様々な型があり、自動点火装置として乾電池が入っています。このなかにも、ありません」と二個の乾電池を取り出しました。

乾電池はもちろん、不燃物としては出すことはできませんので、所定の場所にある乾電池専用缶に入れていただきます。と思います。

乾電池の処分は

北海道で

ところで、この乾電池はどこで処分されるのでしょうか。担当課にたずねて驚きました。この乾電池のほとんどが北



▲ストーブのなかから出た乾電池

海道まで輸送され、民間業者の手によって処分されるそうです。

何故このような方法が取られるようになったのでしょうか。

それは、乾電池のなかに含まれる水銀がごみ処理によって大気中に放出され、環境汚染が起これるとの社会的な問題が取りざたされるようになったからです。

そこで、昭和六十年に厚生省生活環境審議会適正処理専門委員会「事業者において乾電池中の水銀含有量の低減化などの措置を講じ(中略)広域的かつ共同で処理すること」という報告が出され、昭和六十一年二月に「使用済み乾電池の広域回収、処理計画」が

発表されました。

一自治体のみでの乾電池の処分は負担が多く、現在では全国の多くの自治体がこのシ

ステムによって乾電池を処理しています。(ちなみに、平成六年度に処分された乾電池の量は四四四一トンです)

回収できないものワースト3 バッテリー・消火器・ガスボンベ

回収車は久連、本町五丁目、小江尾そして佐川集落へと進みました。

佐川のある集積所でポリ缶のなかに、灰がいっぱい詰まっているものが何個かありました。

なかを調べてみると、建築廃材と思われるものが灰の中から出てきました。実に巧妙なやり方で出していました。



▲缶のなかに入っていた建築廃材

(この件に関しては、今後対策を講じることになりました)

スプレーなどには 必ず穴を開けて

そして、回収車にいっぱいになった不燃物は運搬中に落ちないようにホロをかけ、中間処理場のある岸本町へと向かいました。

処理場に到着後、不燃物は即座に受入れホッパに移されました。

ここで、回収作業を行っている皆さんに最近の不燃物の傾向についてたずねてみました。

「特に、回収できないものの中に多く見られるのが、バ

ッテリ、消火器、ガスボンベです。これらは、あたり前のことですがすべて業者の方に出していただきたいですね。それから、スプレーなどは、必ず穴を開けて出していたきたいと思います」と語っていました。

そして、回収車は、次の巡回地域へと向っていきました。



▲不燃物はまず受入ホッパに
(岸本中間処理場)

江府町からの

搬入量は

年間二二三トン

岸本中間処理場

さて、この岸本中間処理場は西部市町村の不燃物を一手

に処理しています。平成六年度の搬入量は一三万四六四トン(内江府町は二二三トン)で、搬入量の多い月は八月、十二月、三月です。

持ち込まれた不燃物はどのように処理されるのか、流れを追ってみました。

まず、受入れホッパに移さ

カセットボンベは 一日当たり約五〇〇本以上も搬入

ここで、処理場での不燃物の実態について、担当の矢倉主任に話を聞きました。

「家庭用コンロに使用するカセットボンベは、一日当たり約五〇〇本搬入されませんが、穴の開いていないのが

れた不燃物はベルトコンベアで運ばれ、人の手によって分別されたのち、ごみ圧縮機(コンパクタ)によって圧縮されます。圧縮された不燃物はコンテナに移され、淀江町にある最終処分場へと運搬されます。

あります。

また、大型の不燃物として冷蔵庫などはまずフロンガスのぬき取り作業をした上で処分していきます。

そのほか処分できないものとして消火器で年間約二〇〇



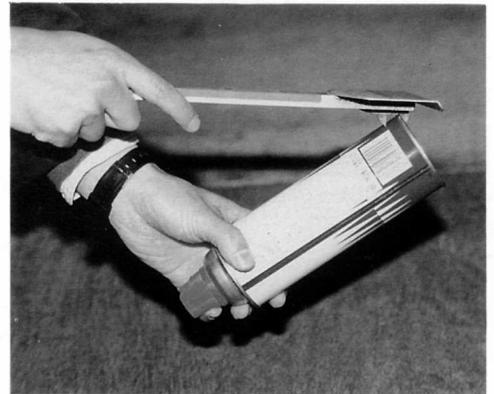
▲冷蔵庫からフロンガスをぬき取る機器

本。乾電池で年間三〜四トンもあります。このような処分できないものは作業員によって、分別してありますが、なかなか困難な面もあります」と。

新しい処理場

建設中

この岸本中間処理場も平成元年一月にスタートしましたが、今後の傾向など総合的な見地から現在新しい処理場が建設中で平成九年度からのスタートに向けて、急ピッチで工事が進められています。



▲スプレーに穴を開ける道具

不燃物として 出せない主なもの

年々増加の傾向にある不燃物。私たちのちよつとした心がけで少なくなることを取材を通じて感じました。

そして、とにかく規則を守って、お互いに注意しながら不燃物も出したいものです。

- 土砂、かわら、コンクリートなど建築廃材
- 発泡スチロール
- 乾電池
- 医療系廃棄物(注射器など)
- オートバイ
- 農薬ビン、劇薬ビンなど

「水」を育む森林は

いのち 生命の源です

森林交付税フォーラム・福岡

森林の果した 役割訴える

森林交付税創設促進連盟の主催による森林交付税フォーラムが二月十四日、十五日の二日間、福岡市で行われました。(福岡市が開催地になった理由は、全国のなかでも水の確保にもっとも悩んでいる都市で、森林の重要性を痛感しているからです)

このフォーラムには、全国から二五〇〇人が参加し、本町からは、福田町長、森田議長、川端副議長が参加。森林をかかえる多くの町村にとって、数々の問題が山積しており、内外に森林の果す役割を十分に認識していただき、山村自治体への財政的支援―森林交付税―を設けることの必

要性を訴える場となりました。このフォーラムにおける「大会宣言」を紹介し、森林交付税について認識を深めていただきたいと思えます。

山村自治体の

財政基盤の確立

この素晴らしい森林を守り育てることこそが、現在を生きる私たち人類に託された最も重要な課題であり、未来の子どもたちのために行わなければならない最優先の責務である。しかし、森林・林業を取り巻く状況は年々厳しさを増し、今日まで森林を守り育て、森林と共に生きてきた山村は、人口流出による過疎化・高齢化等により大きな打撃を

負い、集落の存続さえも危ぶまれる状況のなか、山村自治体は一段と進行する財政力の低下に苦しみながら森林荒廃と必死になって戦っている。今こそ我々森林交付税創設促進連盟が一致団結し、多くの賛同者の協力を得ながら、森林の持つ水資源のかん養機能をはじめとする多くの公益的機能と森林・林業・山村の置かれている状況を広く国民にアピールするとともに森林交付税創設の必要性を粘り強く訴え、二十一世紀の森林・林業行政の躍進に向け、政府、国会並びに関係諸団体に森林交付税の創設を強く要望していくことをここに宣言する。

平成八年二月十四日

森林交付税フォーラム in 森林交付税創設促進連盟

第3回韓国

儒教が生活に 侵透している国

韓国の人ほど、年上、お年寄りを大切にしている国はないと言われます。

それは、儒教の考え方が生活の隅々までにゆき渡っているからです。

儒教は、紀元前五世紀に中国の孔子によって説かれた教えで、その影響は日本にも及びましたが、韓国において、まさに儒教思想が花開きました。

例えば、家庭で食卓をかこんで食事をするとき、一家の長老が料理にはしをつけたあとに、はじめて、食事をする

ことができるのです。かつて、日本でも、このような光景は見られたのですが、核家族化、生活様式の変化によりそのような姿は影をひそめています。

上司の前では 煙草を吸いません

また、上司などといっしょに職場で宴会などが催された場合に、日本でもありますが、煙草を吸うことがあります。

韓国では、上司の前で煙草を吸うことはしません。吸う場合は、別の場所に移動して吸います。

また、上司の前では、あまりお酒を飲みません。つまり、日本のような無礼講はないと言ってもいいと思います。かつて、中国は隣国「韓国」のことを「東方礼儀の国」と呼び、友好関係を保っていました。

歴史と伝統のある国・韓国で日本で失われたもののみつけてみるのもおもしろいかと思います。

町消防団

最高榮譽のまとい受彰

日本消防協会特別表彰最高榮譽賞まとい受彰記念祝賀式



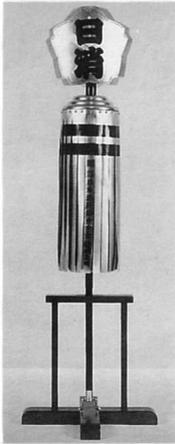
▲まといの受彰式(日本消防会館・東京)
田口団長は右から5番目

日夜、町民の生命財産を守る町消防団がこのたび日本消防協会から、特別表彰として最高榮譽賞まといを受賞しました。表彰式は2月9日、日本消防会館で行われました。

引き続き、2月19日には、県庁で西尾知事に報告。

2月21日には祝賀式を町内外の消防関係者をはじめ多くの来客を招き盛大に開催しました。

二月二十一日、山村開発センターで日本消防協会特別表彰最高榮譽賞まとい受彰記念祝賀式が盛大に開催されました。まず山根博司第一分団長を先頭に、団員の手によって、まといと表彰状が入場。会場からは大きな拍手のうづが巻



▶高さ2・5メートル重さ30キログラムありす

き起っていました。受彰の、経過について、藤原助役が報告したあと、福田町長がいさつ。
次に、田口団長が、諸先輩のご尽力に感謝すると



▶団員の手によって披露されたまとい

女性問題講演会

今輝いていますか

女と男

二月二十八日、山村開発センターで町女性問題地域推進会議講演会が開催されました。テーマは「今、輝いて、女と男」ー生き生きしていますか、あなたの毎日ーと題し、講演会・女性NGOフォーラム(北京で開催された会議)の参加報告などが行われました。

講演では、県精神保健福祉センター所長の原田豊さんが「生き生きと暮らしていくために」と題し、医師の立場から、男女の役割について、話をされました。
参加者の多くは、様々な角度から男女のあり方について学んでいました。



▲「生き生きと暮らしていくために」と題し講演する原田所長(山村開発センター)

二月二十八日、池の内会館で老人クラブ常盤会の女性部（藤原さよ子部長）が会員相互の親睦を図るためにつくったひまわり同好会が一年間の活動発表の場として合同学習会を行いました。この会は、料理・花・茶道などの五部があり、

日ごろ学習してきた作品を展示したほか、音楽に合わせて踊ったり、大山おこわをつくったりしました。また、この日は、同じ集落の人たちも参加。力を合わせて、作り上げた温ったかいミニ文化祭の雰囲気に包まれていました。

池の内ひまわり同好会・合同学習会

「お茶に・お花に・習字など
みんなで楽しく学んでいます」



▲お茶のたて方をみんなで学習(池の内会館)

奥大山の水が化粧水に

みずみずしい肌に

全身ローション「美人姉妹」

発売 **START** はじまる

▶これが化粧水「美人姉妹」です



かねてより協議が進められていた奥大山の水を使った化粧水の製造・販売が、いよいよ本格化し、二月二十三日、山村開発センターで調印式が行われました。これは、奥大山の水が肌に吸収されやすい特性をもつことを研究した製茶業者の門田園（大阪府）が子会社「マイシャ」を設立し、月々四トンの水を町地域振興（株）から購入し、一時加工した

ものを、化粧品製造業者の「ケンビ」（大阪府）で化粧水にして販売するものです。この日は、地域振興（株）社長の福田町長と門田園の門田一弘社長が販売契約の調印を行いました。化粧水の名まえは「美人姉妹」。効能としては、荒れ性の肌などにもよく、全身ローションとして全国の代理店で今月十二日から発売しています。



▲販売契約調印後、握手を交わす門田社長と福田町長（山村開発センター）

すべれるようになったよ！

西ノ島町スキー交流



▲「ゆっくりでイイよ」

西ノ島町との小学生と青年団の交流は、冬だけでなく夏も行われており、夏は江府町から西ノ島町に行く予定になっています。

本町の小学生と青年団による、西ノ島町とのスキー交流がそれぞれ開催されました。小学生の交流会は、西ノ島町児童百五名、江府町児童四十三名の参加があり一月三十日

から二月一日までの三日間、奥大山スキー場で行われました。初めてスキーをしたという西ノ島町の小学生を、奥大山スキー学校の先生や江府町の小学生が手助けして、三日目には西ノ島町のほとんどの小学生が滑れるようになりました。

わだいのひろば

青年団の交流会は、西ノ島町青年団十名、江府町青年団十一名の参加があり、二月十日から十二日までの三日間、鏡ヶ成スキー場で行われました。日中はスキーで楽しみ、夜はカラフアームで、遅くまで交流を行いました。



▲天気が良いと自然に笑顔になります

体育功労章受賞

加藤清俊さん受賞



▲「みなさんのおかげです」と加藤さん

「受賞は、みなさんのおかげです。これからも健康でみなさんに恩返しをしたい」と、決意を述べておられました。

この度、鳥取県体育協会の平成七年度スポーツ表彰式が行われ体育功労章を、本町の加藤清俊さん（杉谷）が受賞されました。

この功勞が十年以上の方に贈られます。加藤さんは、本町のソフトテニスの基盤を築き、特に県民体育大会ソフトテニスでは、総監督として六年連続優勝の偉業を成し遂げられました、町老人クラブ連合会長としてゲートボールの発展と普及にも努められ、地域体育の功勞者として受賞されました。



▲男子の部1位の藤原(左)・佐藤組

寒い体育館で熱い戦い

第十回江府町バドミントン大会

二月十一日(日)第十回江府町バドミントン大会が町総合体育館で開催されました。大会当日はたいへん寒い日でしたが、十六チームの参加がありました。

大会結果

男子の部

- 一位 藤原信雄 佐藤隆文 組
 - 二位 岡田延寿 山本 優 組
 - 三位 遠藤光春 谷口則行 組
 - 三位 徳岡貴史 古川清弘 組
- ### 女子の部
- 一位 掛谷純子 藤森史子 組
 - 二位 岡田千春 山本和美 組

—自慢のソリ大集合!—

自作ソリワールドカップin奥大山

2月18日(日)自作ソリワールドカップin奥大山(主催:ヤングネットワーク)が奥大山スキー場で開催されました。

吹雪でたいへんな大会でしたが小学生の部で62台、一般の部で17台の参加がありました。



▲コスチュームもばっちりのサンダラバード



▲ひえ～さむい



▲大会史上最高のエントリーがあった小学生の部



▲今年のグランプリ



▲迫力のエンデバー

大会結果

グランプリ

モォ～と牛乳をのもう号
(長恒泰治・川上村)

準グランプリ

百姓チーム
(三島弘美・八雲村)
大山砂防安全会
(前田和夫、笠間好正・名和町)

小学生の部

- 1位 岡田淳慈・遠藤綾乃
(江府町)
- 2位 岡田祐穂・遠藤嘉子
(江府町)
- 3位 藤原宏樹・森田将央
(江府町)

◆たくさんのお手紙ありがとう

魚崎小学校から感謝のお便り

今年一月に、町内の小学校から神戸市の魚崎小学校へ激励の手紙が送られました。その返事が来ましたので、一部で紹介いたします。（敬称は略させていただきます）



▲元気です！（魚崎小学校児童）

あの日は忘れ られませんか

何千人という生命を奪ったあの阪神淡路大震災から一年が経ちました。あの頃は、たくさんの救援物資に励ました手紙ありがとうございました。そして、今はようやく神戸の町も、段々と復帰してきました。

震災直後は家が潰れて、道がなくなっていたり、マンションとかが今にも倒れそうで斜めに歪んだところとかが、たくさんあり解体をしていく家も多かったです。でも今は、みんなが立ち直り、家を建設したりしています。それは多分、みんなからの

お便りなどの励ましがあつたからだと思います。

本当にあの日は忘れられません。天災はどれだけ怖いかと言う事を知らされました。

私たちは、神戸の復興と共に頑張るので応援してください。

六年 前山 絵理

八月に家が 建ちます

震災で私の家は全壊して今は、六甲アイランドの仮設住宅に入っています。それで、魚崎小学校へ電車に乗って来ています。

今はほとんど落ち着きました。震災で私の飼っているウサギが死んでしまいました。

八月になると私の家を建てる予定で、わくわくします。そっちは寒いですか？そして、そっちの地震は怖かったですか？

三年 井原 実佳

運動会や音楽会をしました

あの恐ろしい地震から、もう一年がたちました。

私の家は、去年修理が終了に戻りました。運動会や音楽会もすることができました。町も少しずつ家が増えてきま



▲現在の魚崎小学校校庭

した。

地震の事を思い出すと悲しい気分になりますが、明倫小学校のみなさんや、全国の暖かい励ましをエネルギーにして、頑張っていきたいと思えます。

亡くなった友達の間まで、一生懸命頑張るつもりです。お手紙ありがとうございます。

三年 高木 さやか

百万ドルの

夜景が戻ってきた

魚崎の町の家はたくさん潰れたけど、みなさんの励ましのおかげで、少しずつ復興して、百万ドルの夜景が戻ってきました。

僕達も元気に頑張るので、みなさんも元気に頑張ってください。

食料、水、救援物資など、ありがとうございます。

六年 武田 竜太

勇気を

ありがとう

私達は六月まで仮設校舎で勉強していました。でも六月になって本校舎にもどり勉強します。

地震から一年たって、余震も少なくなりしましたが私はまだ余震が怖いんです。けれども江尾小学校のみなさんからのお手紙で私はいつまでもビックビックしていないで頑張ろうという勇気が出てきました。

本当にありがとうございます。

五年 須々木 啓子

がんばって

います

大震災が起こった時、震えていましたが、今ではそんな事が全然ありません。

私は勉強も頑張っています。給食も頑張って食べています。そちらは、雪が降り寒いかもしれませんが、頑張りましょう。

一年 いしだ ゆかり



「三ない」は ほんとうかな？

ぼくたちの「学級」に人をばかにしたり、人を仲間はずれにしたり、そんな差別が生まれるふんいきはないよ。

ほんとうかな？

ぼくたちの学級に人がばかにされたり、人が仲間はずれにされたり、人がいじめられたり、そんな差別は、起きてないよ。

ほんとうかな？

わたしたちの学級に差別はないから、差別は起こっていないから、差別をなくす学習なんてする必要はないと思う。

ほんとにそれでいいのかな？

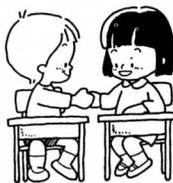
これは小学校でのできごとについての詩ですが、「学級」を家庭や職場、地域社会などにおきかえてみてください。

それぞれに差別体質が「ない」のでしょうか？

差別体質を見抜く力と目が不足しているのではないのでしょうか？

差別が起きていないから、差別がないのはありません。差別の「小さな芽」はあ

るのです。「小さな芽」はつみとりましょう。



人を差別しないために、私たちはなにを学び、なにを、自分で考え、実践するか、くり返しくり返し、学習を続けなければなりません。

こうした学習の積み重ねが、差別をなくす近道なのです。

差別をなくす特效薬はありません。

(人権読本「じんけんの詩」より)

て め る 私 を 求 め て

町民憲章

私たちは、先人の残してくれた貴重な文化遺産や恵まれた自然を受け継ぎ、いたずらに傷める事なく後世に伝えると共に、これらを基礎にして快適な町づくりに努める責務があります。

平成四年に制定された町民憲章には、町づくりのために町民が日常生活の中で取り組むべき事項が掲げられています。だれもが今一度、町民憲章に目を向け、町の諸施策を待つだけでなく、「ボランティアとして道の除雪をする」などの自分や家庭・地域などでできる具体的なものを見出し実践してほしいものです。

町民憲章の意図するものを具体的行動にするために、例えば「人を敬い、やさしい心を育てましょう」では

ア、ひとに親切にする町
イ、隣・近所助け合う町
ウ、自他の人権を守る町などを
目指している条項と思われる
ます。そのア・イ・ウのそれ
ぞれについてできることを目
標として取り組めばいいと思
います。下の表は、その様な
考えで作った例です。自分で
も作り実行してみて下さい。

人によって、力点の置き所
や具体的な行動は違っても、
この様な取り組みをすること
が即、生涯学習であり、これ
によって町民憲章を生かすこ
とにもなり、一人ひとりが直
接町づくりに参加したことに
もなるのです。



▲ボランティアの参加で大成功したソリ大会

町民憲章	目 標	具 体 的 行 動
人を敬い やさしい心を 育てましょう	ひとに親切にする町 近所隣と協力し合う町 自他の人権を守る町	「どうぞ」と譲り合おう 困っている人に手をかそう 人に迷惑をかけないようにしよう 笑顔で挨拶をしよう いじめをなくそう 人権学習に取り組もう
健康で 安らぎのある 明るい家庭を 作りましょう	自分の健康は 自分で守る町 スポーツ活動を 生活に生かす町 和やかな家庭 を旨とする町	健康診断を進んでうけよう 身体をつとめて動かそう 体育活動に進んで参加しよう 親子の対話をさかんにしよう 家庭作業に子供も加わろう 草花を育て美しく飾ろう
自然を生かし 個性ある 豊かな町を 作りましょう	自然環境の 保全に努める町 地域の産業を 大切に 個性ある地域文化を 創造する町	自然の動物や植物を守ろう ごみは出さない持ち帰ろう 地元農産物を活用しよう 食品加工を工夫しよう 地域の芸能や民話を伝承 昔の遊び道具を継承しよう
教養を高め 清新な文化 の創造に 努めましょう	町の歴史や文化が 話し合われる町 充実した余暇が 過ごせる町	文化財天然記念物を知ろう 図書館を利用し本に親しもう 趣味や特技を見出そう 講座や教室で活動をする 外国の様子や文化を知ろう
きまわりを守り 安全で快適な 社会を 築きましょう	交通事故などの 防止に努める町 働くものの 意欲を高める町	交通安全旗を掲げよう 防災や防犯の知識を生かそう 使う人の気持ちになろう

あす 明日へ生き

健康保持は図書館へ

No.45 図書館だより 江府町立図書館

エネルギー

「春風や闘志いだいて丘に立つ」(高浜 虚子)

凍りついた大地が緩み、小鳥たちの歌う季節、そして春風そよぐ丘の上で、眼下に広がる大地を見下し「ヨーシ! やるぞー」と燃える季節です。さて、自然の樹木や草花は春の陽射しを受けて伸び上がり始めますが、私たちも自然の一部だとするならば、春は成長が目に見えるはず。

身につけるものが身体に合わず「お母さんこれ小さくなっちゃった」と買い替えをねだった頃からもう幾十年。風体の老化と共に成長点も見失って、内面は目減りする一方なのは私だけ? そんな時、ダンベルで筋力を鍛え「ここまでやれた!」

と納得するのにも一考。それから書籍の中で天下国家を論じてみるのもまた一考。心と身体とのトレーニングを続けることがいつまでも燃える情熱を持ち続ける秘訣です。

過ぎ去ったことにあまり心を残したり、イライラするのはエネルギーの無駄づかいです。エネルギーはプラスの方向に使うもの。

さあ、春の陽射しと共にエンジン全開です。年度末に当り、皆様方からの日頃のご愛顧に感謝し、平成八年度あやめ号ともども図書館をより一層ご活用いただきますことをお願い申し上げます。

今年度図書館に入った図書は、約千二百冊です。その内購入した図書は九百冊で残り三百冊は寄贈された図書です。ありがとうございます。

新着図書

毎日毎日新しい本が出版され、その中から魅力ある本を選定して購入しています。リンクエストをお待ちしています。



▲新しい本が毎月入っています

- (小説)
- 八代将軍吉宗下 ジェームズ 末
 - 彦九郎山河 吉村 昭
 - 夜消える 藤沢 周平
 - 出雲松江殺人事件 木谷 恭介
 - 恐怖の海東尋坊 西村京太郎
 - 別府国東殺意の旅
 - 特急しおかぜ殺人事件
 - 歌わない笛 内田 康夫
 - 平城山を越えた女
 - 超勉強法
 - 君について行こう
 - 名医の語る健康法
 - 中国の海賊
- (政治)
- 青い目の国会議員いまだ誕生せず ツルネン・マルティ
 - サラリーマンやめてよかつた
 - 資産破壊 松枝 史明
 - 入浴の女王 伊藤友八郎
 - 目覚めぬ羊たち 杉浦日向子
 - 落合 信彦
 - 小田 壽
 - 野口悠紀雄
- (その他)
- 危険な食卓 小池真理子
 - 恋
 - (エッセイ) 清水 一行
 - 心に届いた贈り物 B I G
 - トラブルクッキング
 - 遺された親たち 群 ようこ
 - お父さんごめんなさい 佐藤 光房
 - わが子へのラブレター 荻野アンナ
 - アンナの工場観光
 - お母さんの話聞いて 沖藤 典子
 - 以心伝心言わぬが花 瀧井 康勝
 - 遥かなる静けき朝の国 カニー・カン
 - 向井万起男 荒井たかし
 - 松浦 章

平成8年度分



固定資産課税台帳の縦覧

平成8年度分固定資産課税台帳の縦覧を行いますのでこの機会に土地や家屋の評価額などを確認してください。

◆期間

平成8年4月3日(水)
～4月22日(月) (土・日は除く)

◆時間帯

午前8時30分～午後5時まで

◆場所

江府町役場

◆お問い合わせ先

くわしいことについては、役場税務課にお問い合わせください。
(☎75-2211)

平成8年度

自衛官募集

◆受付期間

平成8年4月18日(木)
～5月24日(金)

◆採用予定

要員	区分	男子	女子
陸上要員	一般幹部候補生	65人	10人
海上要員	一般幹部候補生	50人	5人
	技術幹部候補生	20人	
航空要員	一般幹部候補生	40人	5人

■応募資格

・日本国籍があり、平成9年4月1日現在、次の各項目に該当すること。

①22歳以上26歳未満(昭和46年4月2日から昭和50年4月1日の間に生まれた者)で大学卒業程度の学力を有すること。

②大学院修士課程修了者(見込み者を含む)については、28歳未満(昭和44年4月2日以降に生まれた者)。

③海上技術幹部候補生は、22歳以上26歳(大学院において正規の理学または、工学の課程を修了し理

学修士または工学修士の学位を受けた者)については28歳未満の者。

④現に自衛官である者については22歳以上28歳未満の者。

◆試験日

平成8年6月22日(土)筆記試験

◆試験会場

県内(1か所)受験者本人に通知します。

◆第一次試験発表日

平成8年7月12日(金)

合格者には第2次試験日及び試験会場をお知らせします。

◆お問い合わせ先

自衛隊米子募集事務所

☎0859-33-2400

踏切・線路でのいたずらは絶対にやめましょう

鉄道警察隊

例年、3月下旬から5月にかけて、線路などに置き石をするいたずらが多く発生し、それによって大きな事故が全国で起こっています。家庭で地域で、置き石などをさせないように注意しましょう。

知っていますか?列車の速度と停止距離

私たちの町を走っている列車は、時速80キロから100キロの高速で走っています。

このような高速で走っている列車が急ブレーキをかけても、止まれる距離は、

・特急列車では230～430メートル
・普通列車では280～520メートルにもなります。

国民年金保険料

4月から

月額12,300円に

変わります

この4月から国民年金の保険料が月額11,700円から12,300円に変わります。(付加保険料

INFORMATION

お知らせ

INFORMATION

は、月額400円が変わりません)

国民だれでもが、安心して生活するための大切な国民年金制度です。

この制度を円滑に運営するために一人ひとりが十分に制度の内容を理解することが大切です。

江尾駅構内に完成した「奥大山チロルの里多目的施設」の愛称

“ちろりんハウス”です

今月号の表紙で紹介しましたとおり「奥大山チロルの里多目的施設」の愛称は(境港市の渡辺繁夫さんからご応募のあった)ちろりんハウスに決定しました。

町内外の皆さんから多数ご応募いただき、誠にありがとうございました。

◆成績発表

・最優秀賞

「ちろりんハウス」

境港市森岡町 渡辺繁夫さん

・優秀賞

「チロリアン・ホール」

米子市河崎 矢畑哲也さん

・優秀賞

「アルペンホルン」

江尾

井上廉女さん



スローガン

“まいっかー”

“そんな気持ちが事故のもと!”

◆ねらい

一人ひとりが交通安全意識を普及し、交通ルールを守るとともに交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図る。

◆期間

平成8年4月6日(土)～

平成8年4月15日(月)・10日間

◆運動の重点ポイント

- ・子供と高齢者の交通事故防止
- ・シートベルトの着用徹底

◆こんなことに気をつけて

- ・運転する方は
学校などの周辺では、子供の飛び出しなどに配慮した運転をしましょう。
- ・歩行者の方は
夜間に外出する場合には、目立つ服装で、靴や持ち物などに反射材用品を取り付け、運転者から発見されやすいようにしましょう。

交通安全標語

最優秀、優秀作品を紹介

主催 江府町交通安全母の会

◆ねらい

町民一人ひとりの交通安全に対する意識を高めることをねらいとし、家族ぐるみで身近な交通安全の問題を話し合ってもらおうと小学生、中学生を対象に標語の募集をしました。応募総数325点のなかから、それぞれ最優秀、優秀作品を紹介します。

(なおこの標語は、4月号から11月号にかけて町報に掲載します)

◆小学生低学年の部 (1・2年)

- ・最優秀作品
(江尾小2年 森田友紀さん)
「かえり道 おしゃべりしてても 右左」
- ・優秀作品
(江尾小2年 篠田修平さん)
「止まって止まって足あとマーク わたってわたっておうだんぼどう」

◆小学生中学年の部 (3・4年)

- ・最優秀作品
(米沢小3年 林 正代さん)
「ピカピカひかる あんぜんたすき 身をまもる」
- ・優秀作品
(明倫小4年 藤谷敬太さん)
「思いやる 心の運転 事故はなし」

◆小学生高学年の部 (5・6年)

- ・最優秀作品
(明倫小6年 亀山鮎美さん)
「みえないよ きみの姿が 車から」
- ・優秀作品
(江尾小6年 加藤百恵さん)
「とび出すと 車のかいじゅう やってくる」

◆中学生の部

- ・最優秀作品
(江府中2年 上原菜生さん)
「暗やみに 光るタスキは 命づな」
- ・優秀作品
(江府中2年 村上寛奈さん)
「ピシッとしめよう 気持ちとシートベルト」

’96年版

エメラルドパスポート
新発売

中国山地県境市町村連絡協議会

県境サミットの市町村の各施設をご利用になる場合にこのエメラルドパスポートがあれば、便利です。

■パスポート代金—500円

(有効期限1997年3月31日まで)
なお、県内の江府町、日野町、日南町、西伯町以外にお住まいの方はパスポート代金は1000円です。

■特典

- ・フィールドアスレチック利用料は無料。
- ・スキー場の1日リフト券が半額。
- ・ゴルフ場の平日プレーが9800円。
- ・特産品のプレゼント。
- ・コーヒー無料サービス。
- ・入場料、入館料が5%引き、10%引き、団体割引など。

◆県境サミット圏域

- ・鳥取県(西伯町・江府町・日野町 日南町)
- ・島根県(広瀬町・伯太町・横田町)
- ・広島県(比和町・西城町・東城町)
- ・岡山県(新見市・新庄村・大佐町 哲西町・哲多町・神郷町)

◆申込み・お問い合わせ先

役場企画商工観光課 (☎75-2211) また県境サミット事務局日南町役場(☎82-1111)に申込書があります。

また、くわしいことについてはお問い合わせください。

緑の羽根募金が

6月

緑の募金に変わります

◆ねらい

長い間、町民の皆さんにご協力いただきました緑の羽根募金が6月から緑の募金として生まれ変わることになりました。

これは、平成7年6月に施行された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づいて行われるもので、私たちが将来にわたって緑豊かでうるおいのある生活がおくれるように、国民一人ひとりが森林づくりに参加していただくことを目的としています。

◆期間

平成8年3月25日(月)

～5月31日(金)

◆お問い合わせ先

役場農林振興課(☎75-2211)

人権書道入選者紹介

優秀賞受賞

米沢小4年 田中耕平 さん

江尾小3年 住田麻衣 さん

法務省主催による小学生人権書道コンテストで鳥取地方法務局長・鳥取県人権擁護委員連合会長から町内小学校の2人が優秀賞の栄誉に輝きました。

このコンテストは、小学生に人権を通じて人権尊重の重要性、必要性について理解を深めてもらうために行われているものです。

優秀賞を受けた児童たちを紹介します。

米沢小学校4年 田中耕平 さん
江尾小学校3年 住田麻衣 さん

町営住宅入居のおたずねに お答えします！

江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする審議会から回答

2月3日消印で“江尾の住人”という匿名で江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする審議会会長あてに町営住宅の入居について、おたずねがありましたので、お答えします。

「匿名によって、おたずねいただきましたので、早速役場建設課に糾しましたところ、現在入居中の方については、その条件に適合し入居されておりまして、ご指摘のような不審な点はないと思われます。

その入居条件はその人の所得と家族構成などにより極めて複雑で到底紙面で示すわけには参りませんので詳細については建設課へおたずねいただきたいと思います。

この審議会は平成6年9月発足いたしました。この会の存在についてご認識いただいておりますことに対し深く敬意を表するものであります。

今後とも、この会の趣旨を理解していただき皆さんのご要望をお聞かせいただければ幸いです。

なお、4月には町営住宅3棟の入居募集の運びになるようでありますので、その折に建設課と納得が得られますようご相談いただきたいと思ひます。



町民の皆さんの強い要望

町報と教育広報が再び 別々に発行、4月号から 掲載内容に基準設ける

「教育広報一つまり、公民館報は町制スタート以来、継続してきたもので、町報とは歴史も内容も異なる。ぜひ、教育広報を復活させてほしい」「教育問題が昨今大きな社会問題にまで発展している。今こそ教育広報により十分な紙面を確保しながら、様々な問題に対応する必要性を痛感する」など、一年間、様々なご意見をいただきました。

種々検討を重ねた結果、4月号から再び別々に発行することとなりました。

そこで、町民の皆さんから取材依頼のある件について、一定の基準を設けさせていただきますので、ご承知いただきたいと思ひます。

◆町報に掲載するもの

- ・町行政に関すること。

・社会教育関係団体(婦人会、青年団、PTA、老人クラブなど)を除く団体及び民間、自主的グループの活動に関すること。

・教育関係以外の顕彰、表彰、受賞に関すること。

・江尾十七夜、全国スキーマラソン大会などのビックイベントに関すること。

・町から委託・補助を受けて行う各集落活動に関すること。

なお、各集落で行う自主的な活動については対象外とする。

・小・中学校が行う校外活動で町行政とかかわりのあるもの。

以上、町報は町行政を主体にしたものを中心に掲載してまいります。他の内容のものについては掲載することはできませんので、ご理解をいただきたいと思ひます。

キップは江尾駅で購入を

江尾駅で切符を購入すると次の割合で、その手数料は町の財源となります。

- ・普通乗車券では、5.5%
- ・定期乗車券では、1.8%
- ・団体乗車券では、3.0%

また、どこかに旅行されるなど長距離キップを購入することもできますので、江尾駅にお申し込みください。

◆お問い合わせ先

江尾駅 (☎75-2023)



人の動き

2月届

元気で～す
ヤング²²

たくさんの人に
私を知ってほしい

●お誕生おめでとう

(住所)	(氏名)	(性別)	(保護者)
本五原	英里 ^り	女	義博
小江尾	真衣 ^{まい}	女	泰文
貝田	捷 ^{はやと}	男	賢郎
助澤	佳司 ^{けいじ}	男	博司
新道	遥夏 ^{はるか}	女	和則

●ご結婚を祝します

西田 哲	江尾
谷口智恵子	久連から
宇田川和範	武庫
山岡めぐみ	日南町から
上貝 志公	岸本町
仲嶋 真紀	小江尾から



●ごめい福を祈ります

(住所)	(氏名)	(年齢)	(世帯主)
洲河崎	浦部 芳子	74歳	徹雄
新二	藤森 智恵	64歳	茂治
一旦	梅林 幹子	72歳	寛
宮市原	見山 清子	73歳	收
小原	谷口 昌壽	73歳	本人
下蚊屋	小椋 忠	65歳	利春
白住	原明 義輝	64歳	本人

鏡ヶ成国民休暇村勤務 尾西桃代^{さん} (21歳)



*仕事の内容は？

勤務して3年目。今、フロント係です。とにかく、自然がいっぱいある所で仕事をしたかったので、大満足です。

*趣味は？

映画鑑賞です。それに、こんな素晴らしい所にいるので、今スキーンに挑戦しています。

*行ってみたい所は？

日本全国をまわりたいです。

特に、暖かい沖縄に行ってみたい。

*好きな男性のタイプは？

とにかく、気を遣わない人ですね。タレントでいうと、ケビン・ベーコン。

*町にのぞみたいことは？

言うことなし。満足しています。

*あなたの目標と夢があったら？

たくさんの人に私を知ってほしいです。

編集後記

▼とうとう三〇〇号を迎えました。特集では、多くの方々からお声をいただき、本当にありがとうございました。

「印象に残った所をファイルしている」、「家族で、職場で写真など出ると話題沸騰です」など涙の出るようなお声もあり、やらせではないかと思われる方もあるかもしれません。

また、「語句の表現を適確に」、「多角的な編集には編集委員を設置しては」など、更に充実した紙面づくりに鋭いご意見もあり、ありがたい気持ちでいっぱいです。

新年度を迎えますが、新たな気持ちで努力して参りますのでよろしく願います。

▼さて、新年度から再び町報と教育広報が別々に発行されることになりました。これは、町民の皆様からの強い強いご要望により実現したものです。よって、町報においては、町行政面を主体的に情報提供するとともに教育関係、スポーツ行事、各分館活動については、教育広報で対応しますので、ご承知願います。



まつい受彰祝賀式であいさつする田口消防団長



不燃物の積み込み作業する空場さん



日ごろの成果を発表する池の内のひまわり同好会の皆さん